

八ヶ岳スタイル

Life Style Magazine
for YATSUGATAKE
2009 Winter

Vol.4

●オーナーズヴォイス
4年目の冬を迎える伴さま一家を訪ねて。

冬の富士が見たくて。

●イベントレポート
飯盛山紅葉ハイキング
井上農場の農業体験

●冬を満喫

冬の美味しい八ヶ岳 ほうとう、ビーフシチュー、グラタン





お嬢さまの麻子さんも、仕事から解放されてここへ来るのが楽しみなひと時だと言う。

冬の富士が見たくて。

今年で4回目の冬を迎える伴さま一家。冬は眺めがきれいで、一年の中でも最も自然の美しさを感じる季節だという。家族みんなが集まる第二の家として、今週も素敵なひと時を過ごしています。

一日中暖かいから、冬でもすごく快適ですよ。それにここは晴天率が高いから、ほとんど晴れる。名古屋の自宅より暖かく過ごせているんじゃないかな。よく分かんないけど、たぶん暖房費なんかも安く済んでいると思いますよ。」
秋から冬にかけては、木の葉が落ちて風景がすっかり変わっていたり、春先は木の芽が出て新緑に包まれたり、四季の彩の変化が手に取るように実感できるようになったことが、一番の驚きでもあり、喜びの様子。

■日常生活ですよ、八ヶ岳での暮らしも。
「我々の世代だと田舎暮らしとか、老後のためにとかよく言うけど、そういうのではなく、日常生活の延長なんです。この生活も。」
会社勤めの伴さまは、転勤族でもあり出張も多い。家を開ける時間も多し、家族みんなが過ごす時間は、どうしても限られてしまう。今、ご主人さまは単身赴任で、ご子息は就職で東京に暮らし、奥さまとお嬢さまは名古屋の自宅とバラバラの生活になつている。
「東京から名古屋に帰るよりも、ここに来る方が近いし、コストも安いしね。」



「ここに来て主人のファッションもすっかり変わりました。」と奥さま。「今までジーンズなんか履かなかった人が、ここでは毎日ジーンズ。」

取材に伺った日もご主人さまは福井への出張からの帰りに八ヶ岳に来て、家族と集合したという。それまで奥さまは、アニーちゃんとな名古屋のご自宅で留守番ばかりのことが多かったが、ここに来るようになってからは、週末になるたびにアニーちゃんからも「八ヶ岳に行こうよ、ワン」と語りかけられ、奥さまも自らハンドルを握ってアニーちゃんといっしょに来ることが一番の楽しみになっている。ちょうど東京と名古屋の中間で、奥さまも外出できるので、アニーちゃんも含めご家族みんなが幸せになれるという点では最高の選択であったと言える。
「週末はここに家族みんなが集まることの方がいいかな。その方が家族だけの時間を過ごせるから。」

「ここに来ると、四季の変化が分かる。四季の変化の色合いがはつきりと見えるのが、この魅力。」と語る伴さま。
今回で4回目の冬を迎える伴さまは、名古屋生まれの名古屋育ち。今も名古屋にご自宅があり、金融機関にお勤めのご主人さまは現在55歳で東京に単身赴任中。
4年前に友人と共同で購入したものの、お互いに利用頻度が高く、いつそのことそれぞれ持とうということになり、今では友人も同じ「星の音ワイワイレッジ」に新たに別荘を求めている。
最初は愛する大型犬のオールド・イングリッシュ・シェパード、「アニーちゃん」のためにという程度のつもりで購入したものの、実際にここに足を運ぶたびに八ヶ岳の自然の魅力を発見し、来る頻度も高くなってきたという。
「それまで名古屋に住んでいたでしょう。仕事は東京中心だし、なかなか自然の移ろいとかを実感することってないですよ。それがここに来るたびに新しい発見があるんですよ。夏はとにかく涼しくてクーラーはいらない。冬だって暖かいんですよ。南向きで日当たりが最高だし。床暖房さえ入れておけば

冬でもテラスから富士山を眺める時が、一番幸せを感じるひと時だそう。





写真上：お気に入りのテラスには、ガーデンで育てたハーブのドライフラワーと一緒に、干し柿、唐辛子、トウモロコシなどが夕陽を浴びながらぶら下がっている。
写真下：奥さまお嬢さまに教わってスノーボードを始めた。まさか、この年でスノボを始めるなんて思いもしなかったが、結構エンジョイしている。



写真上：右の棟が伴さま邸。ガーデンにはハーブや花がたくさん植え込まれている。
写真下：冬の朝日は赤富士を、夕陽は甲斐駒ヶ岳の南アルプスが最高にきれいな瞬間を楽しませてくれる。この眺めこそ、ここに来て得ることのできた至福のひとつであり、いちばんの財産だという。この日も夕陽がドラマチックだった。



散歩代わりにゴルフを楽しめる、
八ヶ岳の環境は、いいよ。

冬はスキーやスノーボード、夏はゴルフを家族みんなでとんとん楽しむ。そんなライフスタイルで若い頃を取り戻したような毎日。



残念ながら昨年の秋に13年の命に幕を閉じてしまったアニーちゃん。今はもう一度同じ犬が来るのを待っている。



八ヶ岳の正確な名前も覚えなし、次はどこへ行こうかと楽しみは広がる。



ここに一生暮らすかどうかは分からないけど、同じような世代、似たような価値観を持っている人が多く、安心感もあるから、ずっとここに暮らすのも悪くはないかなと最近感じているという。
「孫なんかできて、大自然の中で一緒に時間を過ごすのもいいかな、なんてことも考えたりしている。」
夜中に来ることが多いけど、鬱蒼とした森の中の一軒家ではなく、隣近所の別荘に灯りが点いていると安心しますよ。「ああ帰ってきたなあ、みんなも来ているな」と。

床暖房だけで冬も暖かい毎日を過ごせる。

この歳で、毎日がアクティブになった。
「ここに来るようになって、アクティブになったね。まさかこの年になってスノーボードをやるとは思わなかったけど、子供たちに教えてもらいながら楽しんでますよ。」
近くにあるサンメドウズスキー場は伴さまのような別荘暮らしをしてる人が多く、ゲレンデもちやうど滑りやすいし、クルマのアクセスも便利。そのうえそれほど混んでいないことも嬉しい。
そして夏はゴルフをエンジョイ。「早朝か夕方にハーフだけ回るのでそのまま帰ってきてシャワーを浴びたりする。4000円くらいだし、ここから15分。気軽に楽しめるから家内や娘も始めましたよ。」
東京や名古屋でゴルフをする時は、渋滞も覚悟しなければならぬという一日潰れるし、お金も当然かかることを考えれば、同じゴルフでも家族で楽しめるのは、何とも贅沢。

毎日を生きる勇気ができた。
奥さまは、山登り、トレッキング、そしてガーデニング。
「この庭が鹿の通り道になっていて、ハーブとかもみんな食べられてしまうの。朝起きてみると、鹿の糞がたくさんあって。」
名古屋のご自宅でもプランターにたくさん花を植えていた奥さまも、毎日水をやらないとすぐにしおれてしまうのに比べて、ここでは2週間ぶりに来ても、しっかりと元気なのに驚かされたという。しかも3月に植えたハンジからこぼれた種が次々と花を咲かせていると大喜び。名古屋では花作りはやめてしまった。
「犬もお花も自然なのが気に入らなくて改めて感じています。ここにいるとお金をかけずに感動することがすごく増えました。」と、今年はお近所さんからいただいた柿で干し柿を初めて作っている。
「八ヶ岳や小淵沢も、最初から知って来て来たわけでもなく、来てみたらいろいろあって、生活を楽しむには充分。」
小淵沢のアウトレットモールは奥さまの馴染みになり、おかげでファッションも随分変わったとか。
変わったお店やこだわりのお店もたくさんあるし、インターネットで調べると小淵沢にミュージアムもある。ケープテレビもあるから名古屋や東京と同じ情報をリアルタイムで共有できる。
「もちろん最初はアニーのためだったんですけど、何ていうのかなあ、生きてる楽しみっていうか、生きる勇気ができましたね。」

飯盛山紅葉ハイキング

標高1643m。
曇り空でもなかなかの眺め。

あいにくの曇り空、時折小雨もパラつく肌寒い天候のもと、第2回飯盛山ハイキングが開催されました。飯盛山は紅葉の時期を過ぎたのか登山道の紅葉を楽しむというよりも、山から見下ろす麓の紅葉を楽しむといった感じで、清里や野辺山あたりの色づき方の違いが良く分かります。

雑木に囲まれた山道を登り、尾根に出ると一気に視界が開けて八ヶ岳連峰・南アルプス・富士山・奥秩父の360度の大パノラマ！を楽しめる予定でしたが、残念ながら雲が多く視界は今ひとつ。それでも、正面に富士山、南アルプス、右に八ヶ岳、左は奥秩父の雄大な眺めに、参加者の皆さんもしばらく寒さを忘れ見とれていました。



曇っていても、やっぱり気持ち良いです。

次回予告

当社ではシーズン毎に八ヶ岳の自然を楽しむハイキングを企画しています。次回は5月の新緑の頃を予定しております。皆様、ぜひご参加ください。

イベントレポート

四季折々、八ヶ岳ならではのイベントを開催しています。今回は、こんなことをしました！

井上農場の農業体験

糖度10度、
絶品たまねぎ苗植え体験。

「家庭菜園をしてみたいが、なかなか機会がない」という声をよく聞きます。そんな声にお応えして、今回は井上農場でちよとした農業体験です。無農薬・無化学肥料栽培、肥料作りにごだわり、オリジナルの堆肥で育てた井上農場の新たまねぎは糖度10度。柑橘類の果物並みの糖度です。



たまねぎの苗を1本ずつ丁寧に植えていきます。

一般の市場には出回っておらず、一部の生協でしか手に入りません。参加者の皆さんはほぼ初心者で土いじりなんて普段なかなかしない方ばかり。ずつとしゃがんだままの作業ですので足や腰がちよつと苦しそう。あらためて食物を作ることの大変さを感じます。きつと、こつとこつと一生懸命作るから美味しいんですね。

次回予告

今回のプログラムは草刈り体験と収穫体験のあと2回です。また5月より夏野菜の農業体験も計画しております。安全で美味しい野菜を作りましょう。



ほうとう

山梨の郷土料理「ほうとう」は、武田信玄の野戦食として用いたのが始まりとされています。野菜たっぷりで栄養のバランスが良く、消化も良い健康食品です。



お食事処 松木坂

抜群の眺望で味わうほうとう

小淵沢 I.C. を出て、信号を左折してすぐのお店。富士山、南アルプスの雄大な景色を眺めながら食事ができます。あっさりした味噌仕立てのスープで体が温まります。

北杜市小淵沢町 3107-1 ☎0551-36-2815

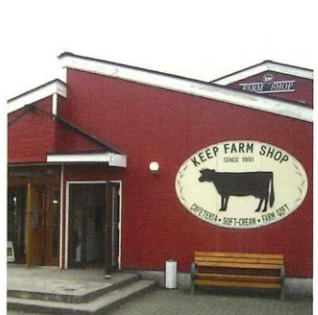
グラタン 牛は夏よりも寒さの増す冬のほうが、濃厚で自然の風味とコクがたっぷりのおいしいミルクを出すようになります。八ヶ岳の気候が育んだおいしいミルクを使った温か料理はいかがですか。



グラタン専門店 アミ

グラタン屋がつくるほうとうのクリームパスタ「グラタン屋のほうとう」はほうとうの麺をパスタにカレー風味のクリームソース。麺がもちもちしてボリュームもあります。甲州地鶏のグラタンやエビドリアなど、新鮮な牛乳をたっぷり使っています。100%手作りのホワイトソースはあっさりとして上品な味わいです。

北杜市高根町清里 3545 ☎0551-48-3388



清泉寮 ファームショップレストラン

まるやかでやさしい味わい

ミルク&ナチュラルがテーマのキープ農場のレストラン。ジャージーミルクドリアは香ばしく焼けたジャージーチーズと甲州地鶏が美味しさをさらに引き立てます。ジャージーミルクのカレーもおすすめです。ともにご飯は雑穀米を使っています。

北杜市高根町清里 3545 ☎0551-48-4888

甲州ほうとう 小作 清里高原店

うまいもんだよかぼちゃのほうとう

かぼちゃをはじめ、じゃが芋・里芋・白菜・ねぎ・ごぼう・にんじん・しいたけ等、野菜がたくさん。ちょっと変わったほうとうやセット物、おじや等もありメニューのバリエーションも豊富です。北杜市高根町清里 3545 ☎0551-48-2801

心もからだもぽっかぽか。冬の美味しい八ヶ岳

寒いこの季節は温かいシチューが恋しい。野菜やお肉の旨味がコトコト煮込まれて一つのお皿の中にギュっ。何だか嬉しい気持ちにさせてくれます。

ビーフシチュー



めし屋 臺眠 (だいまん)

名水と日本酒で煮込んだあっさりビーフシチュー 寛延3年(1750年)創業「七賢」で有名な蔵元の大きな蔵を改造した雰囲気の良いレストラン。煮込みにワインではなく日本酒を使用した、コクもあるのにキレのある味です。北杜市白州町台ヶ原 2287-2 ☎0551-35-5111



シチュー屋 ビストロ

小淵沢に移転した東京の名店

雑誌などで数多く紹介される名店。2週間かけて作り上げられるデミグラスソースは濃厚ながら決してしつこくはなく、上品で深みのある味わい。トロトロの肉とコクのある絶品シチューです。北杜市小淵沢町上笹尾 3332-2077 ☎0551-20-5088

CRI デザインオフィスでは『八ヶ岳の自分の別荘の庭にキッチンガーデンをつくる』というプログラムをおこなっています。

キッチンガーデンプログラム

レポート4



間引いた大根は、小さくても甘くて美味。

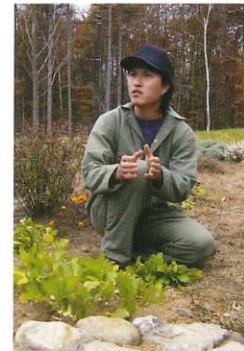
今回の講習は、主に寒さ対策と間引きです。生育の遅れている苗には寒さ避けの布を掛けて保温してあげます。小かぶや大根は大きな実になるよう元気な苗を残して間引きします。無農薬・無化学肥料で育てているので、間引いた野菜はその場で食べられます。

この日は曇り空の下、小雨もまじる肌寒い日でしたが野菜達は日々育っていました。夏の野菜と比べるとちよつと地味な印象ですが、八ヶ岳の寒さの中でも元気に育つ野菜の生命力を感じます。

収穫は12月中旬頃の予定です。

寒さに負けない、 元気な野菜。

9月にスタートしたキッチンガーデンプログラム秋・冬野菜編。今回は3回目の講習会です。大根、白菜、小かぶ、水菜など9月に苗植え・種まきをしました。日々寒さが増す八ヶ岳、はたして野菜は順調に育っているでしょうか。



講師の井上農場の井上さん。
わかりやすい説明で好評。

野菜作りは、 土作りから。

今回は来春にむけた腐葉土作りのため、落ち葉拾いも行います。

腐葉土は落ち葉がバクテリアやミミズなどの土壌動物により分解されて土状になったもので、厳密には土ではないそうです。

別荘地内の森には落ち葉がたくさん。用意した袋があつという間にいっぱいになりました。森の中には様々な微生物がいて、落ち葉と一緒に袋に入れます。こうすることで醗酵を促進させるのです。

春から秋は野菜を育て、冬は土作りと、農業つて一年中忙しいんですね。土も水もすべて八ヶ岳のものを使い、来年もきつと元気でおいしい無農薬・無化学肥料の野菜が作れるでしょう。

スタッフ紹介

東京本社 / 営業部
馬場 泰寛 (ばば やすひろ)



八ヶ岳営業16年目の馬場です。担当するオーナー様に「八ヶ岳の一番好きな季節は？」の答が一番多いのが“冬”。

“自宅より八ヶ岳の家のほうが断然快適”とおっしゃる。購入以前には「八ヶ岳の夏がよいのはわかっている、冬が心配だよ。」とおっしゃった方にかぎって(笑)

窓の外は凍えるような冬景色、でも目の前には薪ストーブの揺らめく炎、小説、そしてシングルモルト。いつか実現したい私の夢、私の八ヶ岳スタイル。

お友達をご紹介します

別荘ライフにご興味のある方をご紹介します。お一人ご紹介につき紹介謝礼¥5,000分、ご成約されたら成約謝礼¥100,000分の商品券を進呈いたします。

営業担当または下記までご連絡ください。

株式会社
CRIデザインオフィス
C'est la vie Resort Izumigo Design Office
SINCE 1970

宅地建物取引業 国土交通大臣(1)第6903号
建築業許可 国土交通大臣(般-18)第21999号
一級建築士事務所 東京都知事 第46701号

■東京本社
〒170-0005 東京都豊島区南大塚 2-45-8 大塚NSEビル 6F TEL.03-5981-2313

☎0120-329-008 FAX0120-948-770

■甲信支社 / 八ヶ岳ショールーム
〒408-0031 山梨県北杜市長坂町小荒間 1860 TEL.0551-32-3242
www.resortlife.jp E-mail: info@resortlife.jp

編集後記

八ヶ岳スタイルを最後までお読みいただきありがとうございます。

今回から少しデザインを変更しました。新しい「八ヶ岳スタイル」はいかがでしょうか？皆様のご意見や感想をお聞かせください。